

北部・西部・東部公民館利用団体連絡会会長ヒアリング結果

社会教育課から次期社会教育計画について説明し、公民館を利用する中で、思っていることや考えていることはないか聞いた。

1 北部公民館利用団体連絡会役員会

場所：北部公民館美術室

日時：令和4年7月9日(土) 15:30～15:50

出席者：北部公民館利用団体連絡会役員（男性4名、女性4名）、小野北部公民館長、公民館職員2名、中川課長

[意見]

- ・公民館は広報が不足していると思う。公民館を利用できることがわからないので、新規の利用者が少ないのでは。
- ・音楽サークルや、コーラスサークルの場合、防音されている部屋（地下の部屋）のニーズが高く予約が取りにくい。
- ・予算の関係があるのはわかるが、ニーズがある施設をもっと作ることはできないか。
- ・コロナ前は、40を超える公民館登録団体があったが、今は25、26団体くらいと減ってしまった。
- ・施設利用を始めたころは、施設のみを利用するつもりでいたが、今は文化祭の準備や地域の一員として、地域への還元、貢献という視点で、利用者団体連絡会の役員として活動しており、このように地域への関わりをもつとは、当初は考えられないことだ。

2 西部公民館利用団体連絡会役員会

場所：西部公民館実習室

日時：令和4年7月13日(水) 11:00～11:25

出席者：西部公民館利用団体連絡会役員（男性2名、女性6名）、神戸西部公民館長、中川課長、金中

[意見]

- ・アンケートの選択肢の表現が固すぎて、どう回答していいか考えてしまう。特に問6などは活動の目的を選ぶことになっているが、自分の開催している料理サークルは当てはまる選択肢がないと考え込んでしまった。
- ・計画策定における市民の参画について、情報が入ってこず、アクセスできない。委員の公募などはないか。また、議事録は公開しているのか。
(社会教育課回答：ワーキンググループ会議は社会教育委員で構成しており、非公開としている。ワーキンググループ会議の内容は社会教育委員の会議に共有されることで公開される。)
- ・市民意見の取込み方はどうするのか
(社会教育課回答：アンケートによる集約が中心であるが、ワーキンググループ会議に来ていただき、お話ししていただく他、今後社会教育委員が各団体にヒアリングに伺うこともあるかと思う。その時は御協力をお願いしたい。)
- ・コロナ対応としては、料理サークルなので、リモートやzoomで対応できないため、人数を減らして、回数を増やして対応している。
- ・現在の悩みは、出来るだけ多くの人に参加してもらいたいのに、高齢者しか来ないことが悩み。サークル

は高齢化しており、若い人（50代）が入ってくれない。

- ・サークル活動を行っているのは昼なので、仕事をしている世代は参加できない。夜、仕事が終わってから集まる機会があれば、そこに参加して、そこからサークル活動が始まる可能性がある。講座などを夜行い、仕事をしている人が参加できるような企画が必要だと思う。
- ・健全など青少年事業参加者と公民館利用者が交流する機会があるとコミュニティが生まれるのでは。
- ・高齢になってから、公民館に来ることで、対面でコミュニケーションが取れ、非常に充実している。
- ・健康志向の運動系サークルの需要は高いと感じる。現に、エアロビクスのサークルは30代～70代と幅広い年齢層で定員いっぱい活動しており、待機者がいる。ストレッチのサークルや太極拳のサークルも人気である。体育館が欲しい位。1階の児童館ホールが使えればよいのだが、児童館は独自のイベントもあるため、断られている。
- ・エアロビクスのサークルは平日昼間行っているが、その日は仕事を休みにするなどして参加している人もいる。忙しい生活の隙間でも参加したいと思わせる魅力あるメニューがあるかどうかではないか。

3 東部公民館利用団体連絡会役員会

場所：東部公民館調理室

日時：令和4年7月16日(土) 16:30～17:15

出席者：東部公民館利用団体連絡会役員（男性0名、女性3名）、中川課長

[意見]

- ・アンケートについて、公民館の活動目的が該当の無いものが多いのではないかと。問10は答えにくい。逆に、このような内容の活動で地域に何か貢献、還元することを求めているのかとってしまう。
- ・前回のアンケートにあった、「職員に求める知識、能力」の設問がない。公民館活動は、職員の企画や様々な事業などに負う部分も多く、職員の能力が大切。
- ・社会教育計画策定にあたっては、公民館と連携が必要である。また、公民館には、福祉部門との連携も必要ではと考えている。
- ・計画策定にあたっては、生涯学習関連部署との連携が必要。
- ・公民館の問題は、(1)サークルの高齢化及びそれに伴う減少。共働きが増加し、サークルに参加する暇がない。解決の糸口は見いだせない。(2)公民館に足を運んでもらえるような親しみのある場所にしていく必要がある。(3)災害も増加しているし、公民館も一時収容可能施設となる。このことを踏まえて、防災教育も力を入れていく必要あり。Wi-Fiも入って活用しやすくなっている。(4)コロナ禍で、遊びに行けない子ども達にとって、公民館が居場所として、安心してリラックスできる場所として使ってもらえないか。
- ・計画策定のメンバーには、公民館、図書館、博物館等の利用者が入っていた方が良いのではないかと。(社会教育課回答：7/26、8/16の2回、利用者ではないが、各職員が参加して、必要があれば、意見も述べる予定。)
- ・お年寄りに料理を作って、公民館にきてもらうサークルだが、コロナ禍で、来れなかったり、本人は来たけれど家族に止められるなどで、実際に開催できなかった。